



鹿児島県 農地バンクだより

～活かそう農地、託そう未来～

第8号

令和3年6月30日発行

公益財団法人鹿児島県地域振興公社
(鹿児島県農地バンク)

TEL 099-223-0223 (農地部直通)



令和3年度が始動しました！



農地中間管理事業（以下「農地バンク事業」）がスタートして、今年度で8年目を迎えました。

令和3年3月に県・県農業会議・県土地改良事業団体連合会・県農業協同組合中央会・地域振興公社（以下「農地バンク」）の5者が一体となって定めた「令和3年度担い手への農地の集積・集約化に向けた取組方針」や、より具体的な活動を示した「農地中間管理事業の取組計画」に基づいて、関係機関・団体が一体となって担い手への農地集積・集約化につながるように本事業の推進に取り組むこととしています。

○ 農地中間管理事業による農地集積目標面積：3,200ha

令和2年度農地バンク事業転貸面積 5年ぶりに 2,000ha を突破！



令和2年度の農地バンク事業による転貸面積は、令和元年度に比べて約671ha（46%）増加の2,143haでした。平成27年度以来5年ぶりの2,000ha超えは、事業活用者様のご理解・ご協力及び各市町村等の農政担当課・農業委員会をはじめとした、関係機関・団体の皆様が農地バンク事業を推進してくださった賜物と深く感謝申し上げます。

増加した主な要因は、①旧円滑化事業から農地バンク事業への移行件数の増加、②基盤整備

実施予定地区での農地バンク事業を活用した貸借の促進、③中間法の契約期間満了後の再設定や基盤強化法からの載せ替え件数増加、④制度の周知等による大規模農家や法人の事業活用の増加などが考えられます。

農地バンクでは引き続き、制度のPRを強化するとともに、重点地区・モデル地区等での活動支援、総点検活動や基盤整備など関連施策との連携強化を図り、事業の更なる活用に向けた取組を行ってまいります。

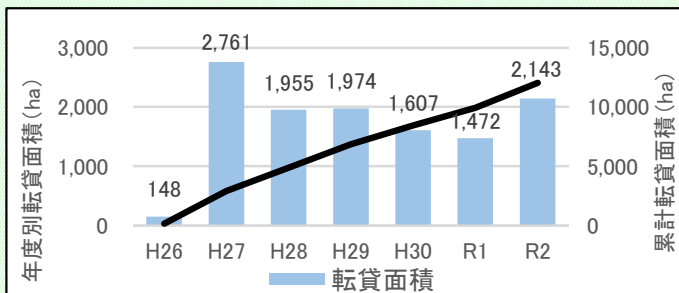


図 年度別転貸面積と累計転貸面積の推移

農地バンク事業地元説明会開催 (枕崎市俵積田地区)

6月15日に俵積田公民館において、農地バンク事業の地元説明会が開催されました。

会では、環境保全会会長の進行のもと、市担当者から農地バンクを活用した貸借のメリットや機構集積協力金、契約に必要な書類などについて説明がありました。



農地バンクからも職員が出席し、参加者からの質問・相談などに応じました。

基盤整備と一体となった事業推進 (日置市吹上町下与倉地区)

6月18日に下与倉公民館において、水田ほ場整備事業推進委員会が開催されました。

同地区は、経営体育成基盤整備事業が計画されており、現在、施工同意とりまとめのための権利者確認が行われています。

農地バンクからは、事業の概要やメリットなどについて説明しました。

同地区では、今後も定期的に推進委員会を開き、事業実施に向けた検討を進めることにしています。





農業委員・推進委員向けの事業研修会が開かれる ～湧水町農業委員会と農地バンクとの連携～

5月11日、栗野中央公民館において、湧水町農業委員及び農地利用最適化推進委員を対象とした農地バンク事業の研修会が開催され、農地バンクの職員が事業概要や取組状況などの説明をさせていただきました。

36人の農業委員・推進委員の皆様に参加いただき、委員からは従来の基盤法による貸借との違いや、賃借料の設定などに関する質問などが出されました。

農業委員会事務局からは、機構集積協力金交付事業の取組等についての説明があり、今後、契約に向けた具体的な準備が進められる予定です。



研修会の様子

ご契約内容の変更手続きはお早目に



市町村、農業委員会、市町村農業公社等、農地バンク事業の相談窓口の担当者様におかれましては、契約者の契約内容に変更があった場合は、速やかに農地バンクへお知らせください。
契約内容変更の受付は、賃借料徴収月の2か月前までとなります。

(例) 住所・氏名・電話番号・指定口座の変更、契約者の死亡・経営継承、賃借料変更など

また、合意解約については、申出書受付から農地バンクの同意まで約3か月かかります。契約者から解約の相談を受けた時点で、合意解約申出書の準備をお願いします。

はじめまして、よろしくお願いします。 ～令和3年度新任職員の紹介～



◆審議役兼農地課長 中原 俊一 なかはら しゅんいち

普及を27年、行政を11年経験して農地バンクで働くことになりました。農地の仕事は初めてですが、一生懸命頑張ります。

◆事業コーディネーター 石田 和英(始良・伊佐、熊毛地域担当) いしだ かずひで

農業高校1年、県職(花き技術職)37年、フラワーパークかごしま3年経験後の勤務です。農地の有効利用が図られるよう頑張ります。



◆事業コーディネーター 江口 正明(大隅地域、徳之島担当) えぐち まさあき

農業保険分野から4月より農地の仕事をさせていただくことになりました。大隅地域振興局内に駐在しています。農地の有効利用の手助けとなるよう頑張ります。

◆事業コーディネーター 福田 博文(農地整備担当) ふくだ ひろふみ

農業土木技術者として県で38年間農業に関わって来ました。農地バンクでは経験を活かし、農地を通し、皆様の祖先や子孫への恩返しのため、美田を沢山引継げるよう努力したいと思います。

